

2015年8月26日

在日米陸軍基地管理本部司令官 殿

相模総合補給廠での爆発火災に関する要請書

日本共産党相模原市議団

8月24日未明、米軍相模総合補給廠内にて、爆発火災事故が発生しました。

爆発は、火柱を伴い連続して数十回にわたり、深夜の街を震撼させました。爆発音や振動、臭いなど、周辺住民のみならず、離れた所の住民も含めて多くの市民が、恐怖と不安を募らせました。

米軍からの「消防相互援助協約」に基づく要請に応じて、市の消防隊が出動しましたが、保管物が危険物である可能性から放水できず、午前7時過ぎの鎮火となりました。

こうした事態が発生、進行しているにもかかわらず、何が起きたのか、どう対応しているのか、知るすべのない市民は長時間にわたり、不安を一層増幅させる事態になりました。

事故現場は、危険物倉庫の一角であり、安全管理を徹底して行わなければならない倉庫です。一歩間違えれば重大事故になるもので、二度と起きてはならないことであり、市民の生命と安全を守る上から、今後の対応がきわめて重要です。

以上のことから、今回の爆発火災事故に対し、強く抗議するとともに、次のこと要請するものです。

記

1. 事故原因究明の現場検証に日本側関係者を参加させること、再発防止策について協議すること。
2. 事故原因について速やかに明らかにし、公表すること。
3. 基地内の廃棄物や危険物に関する定期的立ち入り検査を日本国、自治体が行うことを認めること。
4. 日米地位協定の抜本の見直し、改定に着手すること。
5. 早期に基地を全面返還すること。

以上